

はしがき

農林水産政策研究所では、教育交流に関する行政対応特別研究を、2008、2009年度の2カ年度にわたって実施した（2008年度は「小学生の農山漁村での宿泊体験活動に係る課題の整理・分析」、2009年度は「教育交流による農村地域の振興への波及効果分析」）。本資料は、これら2カ年度の研究成果を取りまとめたものである。

総務省、文部科学省、農林水産省は、2008年度より「子ども農山漁村交流プロジェクト」を、3省の連携事業として実施している。本研究の目的は、この子どもプロジェクトに伴う、①受入モデル地域における教育交流活動の実態および課題、②教育交流が受入地域や受入農林漁家に与える経済効果、③教育交流が農村の地域振興に与える効果等を明らかにすることにある。

本研究の研究成果中には、中間的な研究成果も多分に含まれており、今後、一層検討を深める必要があるものと考えている。教育交流に関する取組と研究の進展のため、ここに本資料を執筆・公表するに至ったが、関係諸氏の忌憚のないご指導、ご批判を賜りたく願う次第である。

2010年5月

農林水産政策研究所
教育交流研究チーム